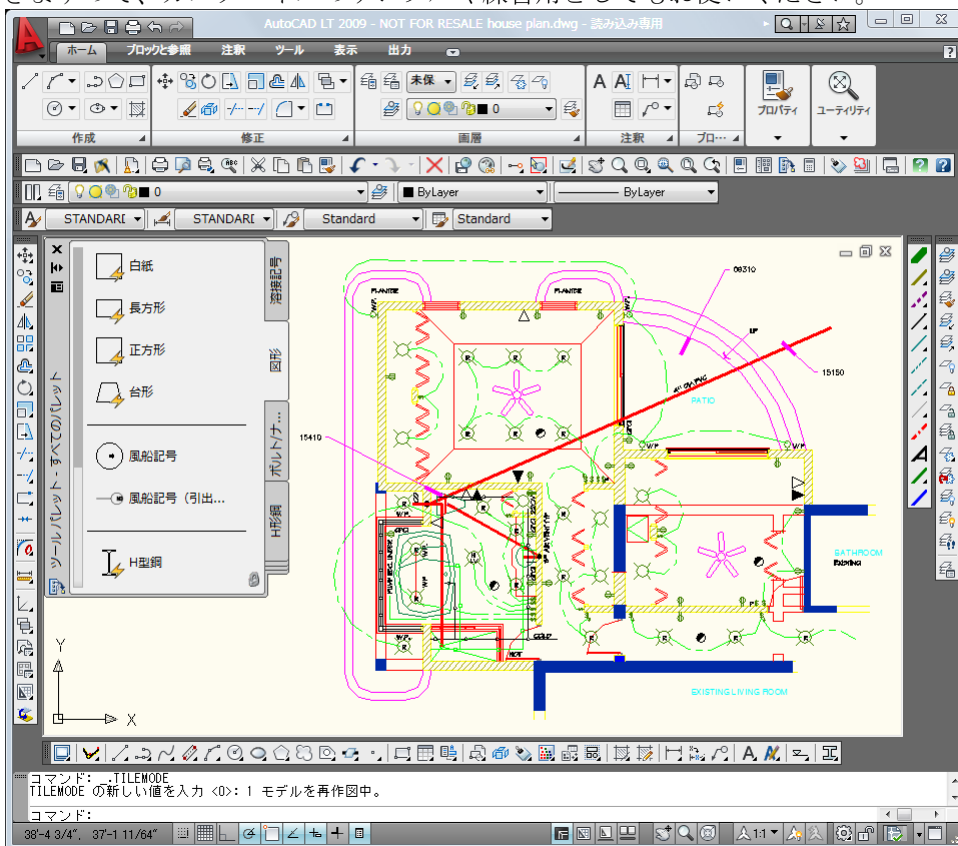


アドメニュー-LT2009

アドメニュー-LT2009 ユーザーズガイド

はじめに

アドメニュー-LT2009 は、作図機能を中心とした AutoCAD LT2009 専用メニューです。よく使う作図機能を中心に多くのアイコンやツール・機能を付加、さらに設計作業に使いやすいようメニューを再編成しました。現在お使いの環境にあわせてかんたんにカスタマイズすることができますので、カスタマイズのサンプルや練習用としてもお使いください。



著作権と商標について

アドメニュー-LT2009 の著作権は有限会社アド設計が所有します。以下の条件を守った上でアドメニュー を使うことができます。

- **アドメニュー-LT2009** の 2 次的著作物を販売することはできません。
- アド設計は**アドメニュー-LT2009** を使用した運用結果に関して一切の責任を負いません。

インストール

アドメニュー-LT2009 のインストールを実行する前に AutoCAD LT2009 をインストール実行し、正常に動作することを確認しておいてください。

アドメニュー-LT2009 のインストール時は AutoCAD LT2009 を終了させておきます。念のためそ

の他の Windows アプリケーションも終わらせておいてください。

AddMenuLT2009.msi を実行し、画面の指示にしたがってください。

インストールプログラムは次のようなファイルやフォルダ、レジストリを作成・変更します。(ドライブ名・フォルダ名などはインストール時に選択されたものになります。)

フォルダ

C:\Program Files\AddSekkei\アドメニュー-LT2009

メニュー 本体

C:\Program Files\AddSekkei\アドメニュー-LT2009\BMP

アイコン用 BMP ファイル

C:\Program Files\AddSekkei\アドメニュー-LT2009\Plot Styles

印刷用 CTB ファイル

C:\Program Files\AddSekkei\アドメニュー-LT2009\Symbols

シンボル図形

C:\Program Files\AddSekkei\アドメニュー-LT2009\Template

テンプレート ファイル

C:\Program Files\AddSekkei\アドメニュー-LT2009\ToolPalette

ツールパレット ファイル

レジストリ

サポートパスにアドメニューのパスを追加

初期テンプレートに Adds.dwt を設定

インストールが済めば

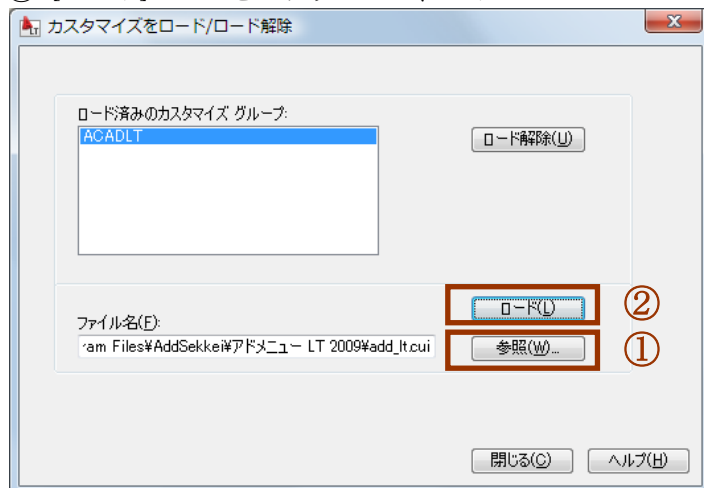
メニューをロード

AutoCAD LT2009 を実行して **アドメニュー-LT2009** をロードしてください。

CUILOAD を入力してメニューロード コマンドを実行して、「カスタマイズをロード/ロード解除」ダイアログボックスを開きます。

① [参照] ボタンをクリックして、アドメニュー-LT2009 をインストールしたフォルダにある add_lt.cui を選びます。

② [ロード] ボタンをクリックして、アドメニュー-LT2009 をロードします。



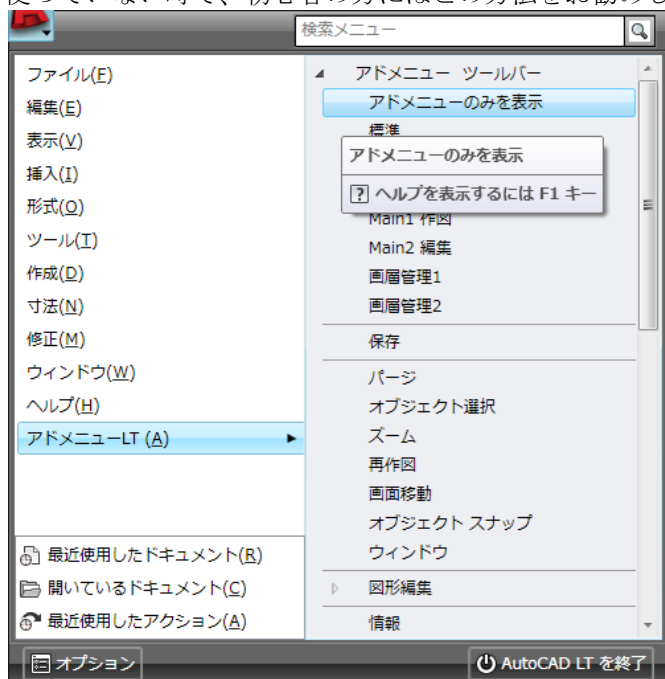
③ [閉じる] ボタンをクリックして、ダイアログボックスを閉じます。

この操作で**アドメニュー-LT2009** のメニューがロードされ、ツールバーが表示されます。

ツールバーを表示

インストール以前に実行されていたメニューに変更を加えないようにしています。そのため以前のリボン、ツールバーとアドメニューのツールバーの両方が画面に表示されます

アドメニューのツールバーを使い、AutoCAD LT2009 の以前のツールバーを使わないならプルダウンメニューから「アドメニューのみを表示」を選択してください。他のアプリケーションを使っていない時で、初心者の方にはこの方法をお勧めします。




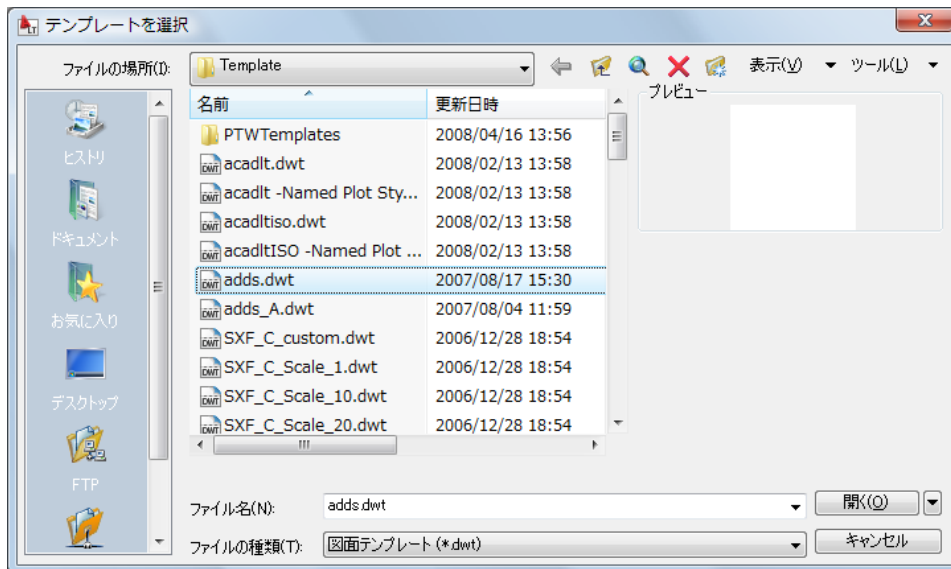
すでに他のアプリケーションを使われている場合や、上級者の方はそれぞれの機能を確認の上、どのツールバーを表示・非表示にするか決めて画面上に配置してください。

AutoCAD LT 2009 のリボンを使用しない場合は、右下の [ワークスペース切り替え] ボタンをクリックして、「AutoCAD LT クラシック」に切り替えてから、「アドメニューのみを表示」を指定してください。

テンプレート

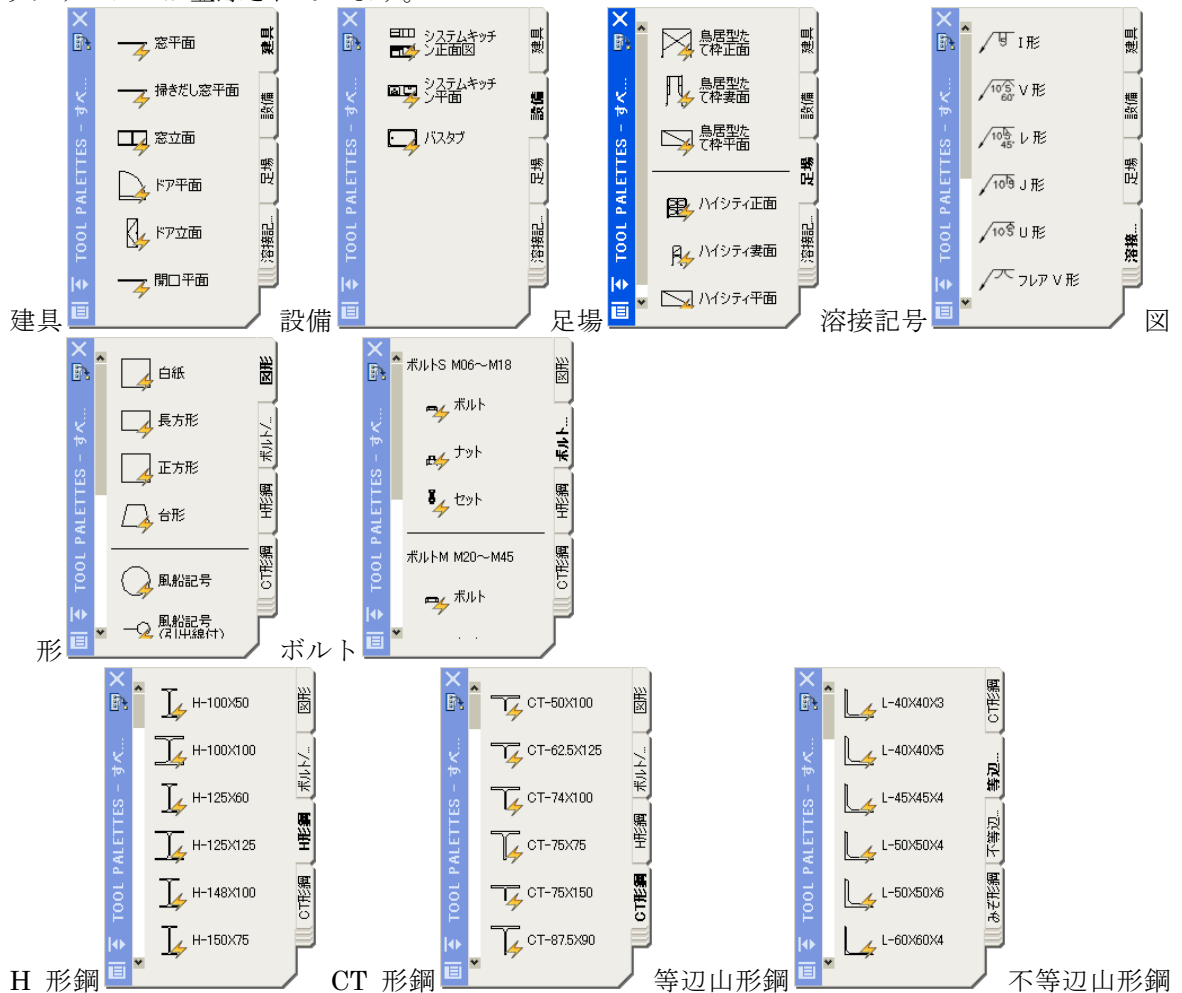
インストールが正常にできていれば、次のように Adds.dwt というテンプレートが表示されます。このテンプレートから図面を書き始めてください。

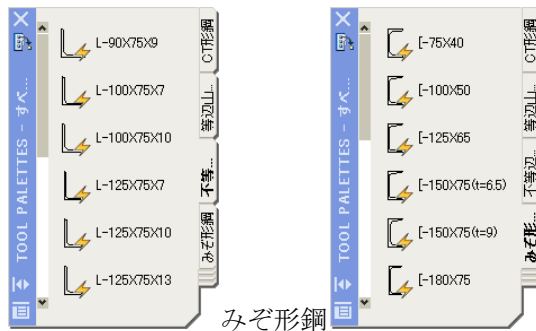
Adds.dwt テンプレートには**アドメニュー-LT2009** の標準的な画層や寸法スタイル、文字スタイルなどがあらかじめ設定してあります。新図面を開いた後、 「図面設定」で縮尺や用紙の設定をすることから始めます。



ツールパレット

アドメニュー-LT2009 をインストールするとツールパレットに、建具挿入、溶接記号、形鋼などのダイナミックブロックサンプルが登録されています。





アンインストール

コントロールパネルの「プログラムの追加と削除」を実行してください。

注) アンインストール後に再度アドメニューLT2009 や他のアプリケーションをインストールする時は、インストール前に AutoCAD LT2009 を一度実行して終了させてください。

制限事項

アドメニューLT2009 にはリボンタブ、リボンパネルは用意されていません。アドメニューLT2009 のツールバーやボタンを「リボンパネルにコピー」やリボンパネルに配置した場合、ボタンが正しく表示されないことがあります。AutoCAD LT のサービスパックをインストールすると改善される可能性があります。

また、透明のイメージや大きいイメージ（32x32 ピクセル）は用意されていませんので、リボンではボタンイメージがきれいに表示されないことがあります。

アドメニューLT2009 のアイコン・コマンド

アドメニューは標準の AutoCAD LT2009 に対して、60 以上のコマンド・アイコンを追加しています。AutoCAD LT2009 の標準コマンドでないものについて以下解説します。標準コマンドについては AutoCAD LT2009 のコマンドマニュアルを参照してください。

ADDLT_OBJECT ツールバー



[解説]

アドメニューでは、基本的に一つの画層に一つの線種・色を固定しています。

 作図ウィンドウを左右に並べて表示

[コマンド] SYSWINDOWS V

 作図ウィンドウを重ねて表示


[コマンド] SYSWINDOWS C

 作図ウィンドウを上下に並べて表示
[コマンド] SYSWINDOWS H


 アイコンの整列
[コマンド] SYSWINDOWS A


ADDLT_STANDARD ツールバー




 2004(LT2004)形式で保存
[コマンド] SAVES
[解説]
作業フォルダに現図面名+_2K4.dwg で保存。

 2000(LT2000)形式で保存
[コマンド] SAVES
[解説]
作業フォルダに現図面名+_2K.dwg で保存。

 R14(LT98/97)形式で保存
[コマンド] SAVES
[解説]
作業フォルダに現図面名+_R14.dwg で保存。

 2007(LT2007)形式の dxf で保存
[コマンド] SAVES DXF
[解説]
作業フォルダに現図面名+_2K7.dxf で保存。

 2004(LT2004)形式の dxf で保存
[コマンド] SAVES DXF
[解説]
作業フォルダに現図面名+_2K4.dxf で保存。

 2000(LT2000)形式の dxf で保存
[コマンド] SAVES DXF
[解説]
作業フォルダに現図面名+_2K.dxf で保存。



R12(LTR2)形式の dxf で保存

[コマンド] SAVES DXF

[解説]

作業フォルダに現図面名+_12.dxf で保存。



現在開いているファイルをすべて閉じる

[コマンド] _CLOSEALL



ページを実行(「名前削除ダイアログボックス」を表示)

[コマンド] _PURGE



一気に各要素のページを実行

[コマンド] PURGE

[解説]

手間のかかるページを一度に実行します。使う時は十分注意してください。



全再作図

[コマンド] _REGENALL



図面範囲ズーム

[解説]

「図面設定」で設定された図面範囲を表示します。

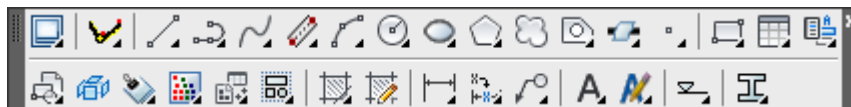


アドメニューLTのヘルプ

[解説]

ブラウザを起動してアドメニューLTのヘルプを表示します。

ADDLT_MAIN1 ツールバー



図面設定 A1~A4 用 (縮尺・用紙・タイトル)

[解説]

図面の縮尺、用紙の大きさなどの基本設定をおこないます。新図面を開くとまず実行してください。



図面設定フリーサイズ (縮尺・用紙・タイトル)

[解説]

図面用紙の外形の寸法を入力してください。



ファイル名と現在年月日を図面右下に記入

[コマンド] REVDATE



アドメニューLTのリセット

[コマンド] FILEDIA;1;CMDDIA;1;UCS;W;



カーソルを2点で傾ける

[解説]

例えば3寸勾配の基準線を設定するには、任意の点を指示し2点目を@10,3のように相対座標指示してください。



カーソルを傾けない



カーソルを角度指定で傾ける



カーソルをオブジェクト選択で傾ける



図面を回転

[解説]

水平となる2点を指定して図面を回転します。

元に戻す場合は水平となる2点を指定するか [角度指定で図面を回転] で0度を指定します。



角度指定で図面を回転



直線を作成

[コマンド] LINE



X/Y通芯を作成

[コマンド] LINE + INSERT + COPY



連続して1セグメントのポリラインを作図

[コマンド] PLINE



幅を指定してポリラインを作図

[コマンド] PLINE




連続して100幅のポリラインを作図

[コマンド] PLINE



ポリラインを一括編集

[コマンド] PEDIT;M

 幅を指示して中心基準の2重線を作成
[コマンド] DLINE



 幅を指示して右基準の2重線を作成
[コマンド] DLINE

 幅を指示して左基準の2重線を作成
[コマンド] DLINE

 始点,半径,円弧長を指定して円弧を作成
[コマンド] ARC

 長穴をかく
[コマンド] PLINE

 ワイプアウトを作成
[コマンド] WIPEOUT


  ワイプアウトオブジェクトのフレームを表示/非表示
[コマンド] WIPEOUT;F

 矩形状のポリラインを作成(中心を指定)
[コマンド] RECTAN

    矩形状のポリラインを作成(コーナーを指定)
[コマンド] RECTAN

    矩形状のポリラインを作成(基点を指定)
[コマンド] RECTAN

 ブロックを登録し同じ位置に再挿入
[コマンド] -BLOCK

 ブロックを書出し
[コマンド] _WBLOCK

 ブロックをファイルに書出し
[コマンド] -W

自動スケールでハッチング（コンクリート）

[解説]

図面の縮尺に応じてハッチングをおこないます。図面設定で縮尺が設定されていることが必要です。

自動スケールでハッチング（軽量コンクリート）

自動スケールでハッチング（斜線）

自動スケールでハッチング（網）

自動スケールでハッチング（十字形）

寸法を連続で記入（補助線あり）

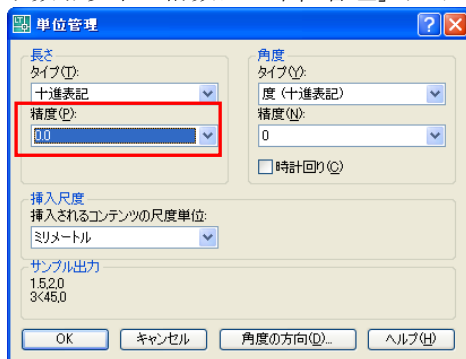
自動的に作成される「SUNPO」画層に寸法が置かれます。

寸法を連続で記入（補助線なし）

円弧寸法記入、スタイルは角度寸法にならう

[解説]

対象は円弧のみです。ポリラインの円弧はあらかじめ分解してから実行してください。小数点以下の桁数は「単位管理」ダイアログボックスの長さの精度で設定してください。

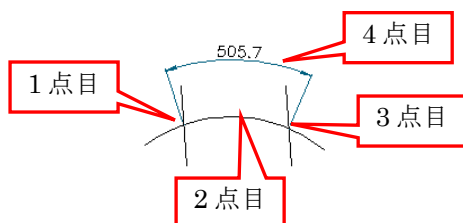


円弧部分寸法記入、スタイルは角度寸法にならう

[解説]

円弧の始点（1点目）・通過点（2点目）・終点（3点目）の3点と寸法線位置（4点目）を指定して円弧寸法を記入します。

小数点以下の桁数は「単位管理」ダイアログボックスの長さの精度で設定してください。





寸法文字の位置を変更



寸法文字を寸法線の上へ移動



寸法文字を寸法線の下へ移動



寸法に公差を追記

[解説]

小数点以下の桁数と上限・下限許容差値を入力して公差を追加します。

上限・下限ともに正の値を入力します。上限には+、下限には-の符号が自動的に追加されます。



寸法値にコンマを追加

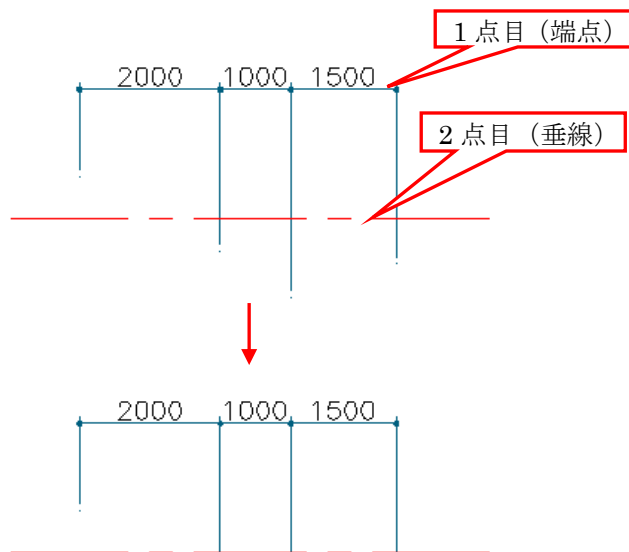


寸法補助線を揃える

[解説]

1 点目に寸法線の位置（端点スナップ）、2 点目に寸法補助線を揃える位置（垂線スナップ）を指示して寸法図形を選択します。

寸法補助線の起点が基準線より短い場合は寸法補助線を揃えることはできません。



現在の設定にもとづいて、寸法を更新

[コマンド] `-DIMSTYLE _APPLY`



寸法の変数一覧

[コマンド] `DIM1 STATUS`



寸法矢印の反転

[解説]

黒丸など反転しても変更のない矢印を選択しても寸法矢印は変化しません。



AUTO 選択した寸法の自動調整機能をオブジェクトに再割り当て

[コマンド] DIMREASSOCIATE



寸法スタイルコントロールを表示



引出線記入

[コマンド] QLEADER

[解説]

AutoCAD LT の QLEADER コマンドを使いやすく改造しています。



引出線のみ作成



ダイナミック文字記入

自動的に作成される「MOJI」画層に文字が置かれます。

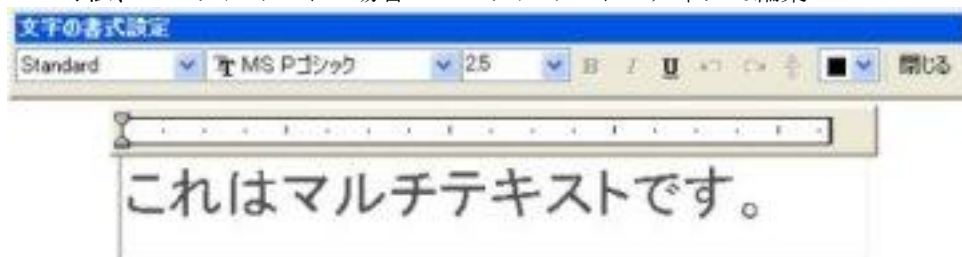


文字・寸法・属性の編集

[解説]

文字編集アイコンはカスタマイズしてありますので、これを実行すると、文字、マルチテキスト、寸法、属性定義、ブロック図形属性、幾何公差のどれでも編集することができます。

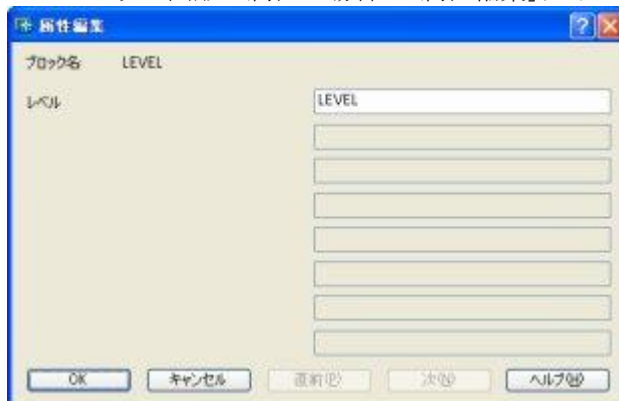
- 寸法、マルチテキストの場合→マルチテキストエディタで編集



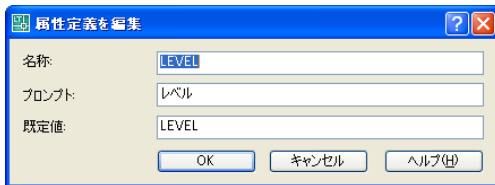
- 文字の場合→インプレース テキスト エディタで編集

これはダイナミック文字です。

- ブロック図形の属性の場合→「属性編集」ダイアログボックスで編集



- 属性定義の場合→「属性定義を編集」ダイアログボックスで編集



- 幾何公差の場合→「幾何公差」ダイアログボックスで編集



文字高さの設定

文字スタイルコントロールを表示

レベル記号を記入

[解説]

図面設定で縮尺を登録してあれば、自動的にその縮尺をかけたシンボル図形が挿入されます。
シンボル記号を標準の大きさ以外で挿入するときはアイコンを指示するのではなく、AutoCAD LT の INSERT コマンドを使う必要があります。
また、自動的に作成される「SUNPO」画層に置かれます。

通芯符号を記入

断面記号を記入

勾配記号を記入

デザインセンターで鋼材の dwg ファイルを開く

方位記号を記入

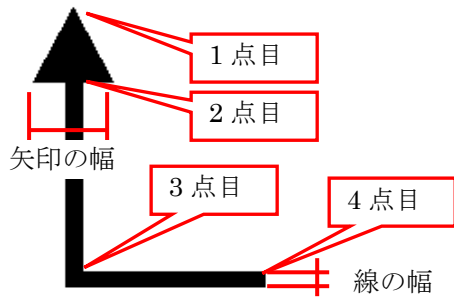
GL 記号記入

割栗記号記入

曲がり矢印記入

[解説]

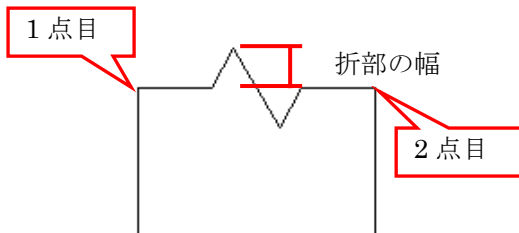
矢印の幅と線の幅を入力し、4点を指示して矢印を「SUNPO」画層で作成します。



破断線記入

[解説]

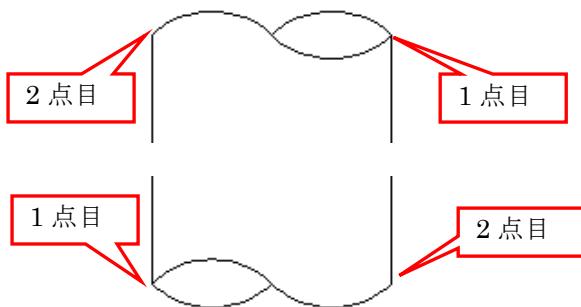
折部の幅を入力し、2点を指示して破断線を「SUNPO」画層で作成します。



パイプ破断線記入

[解説]

2点を指示してパイプ破断線を「SUNPO」画層で作成します。



ADDLT_MAIN2 ツールバー



移動して、同時に回転

[コマンド] MOVE+ROTATE

複写して、同時に回転

[コマンド] COPY+ROTATE

鏡像複写 (元の図形を残す)

[コマンド] MIRROR N



鏡像複写（元の図形を残さない）

[コマンド] MIRROR Y



鏡像複写して移動（元の図形を残す）

[コマンド] MIRROR+MOVE



矩形配列複写(外周のみ)

[コマンド] ARRAY

[解説]

外周のみに矩形配列複写します。ただし、垂直数・水平数共に 3 個以下では作図できません。



オフセットと同時に現画層に移動



現画層にオフセットして削除



回転コピー

[解説]

もとの図形をコピーして回転します。



オブジェクトの角度修正

[コマンド] ROTATE R



尺度変更コピー

[解説]

もとの図形をコピーして尺度変更します。



クリックした点で削除

[コマンド] BREAK



線分をクリックした点で分割



線分をクリックした 2 点間で削除



仮想線でオブジェクトをトリム

[コマンド] TRIM



仮想線までオブジェクトを延長

[コマンド] EXTEND



連続して半径 0 でフィレット

[コマンド] _FILLET R 0 _FILLET

 ポリラインにフィレット

 閉じた領域の面積を引出線記入、スタイルは引出線にならう

 ポリラインの長さを引出線記入、スタイルは引出線にならう

 線分の長さ記入

 距離記入

 UCS MANAGER コントロールを表示

 プランビュー (WCS)

 プランビュー (UCS 選択)

 プランビュー (現在の UCS)

 名前の付いたビューコントロールを表示

 ビューポートスケールコントロールを表示

ADDLT_LAYER ツールバー



 現在層を「指示した図形の画層」に移動

 オブジェクトを現在の画層に移動

 オブジェクトを指定の画層に移動

 画層選択表示

 画層選択表示解除

 画層非表示

 画層ロック

 画層ロック解除

 全画層をロック解除

[コマンド] `—LAYER UNLOCK *;`

 画層フリーズ

 現在のビューポート画層を分離

 「指示した図形の画層」を現在のビューポートでフリーズ

[コマンド] `VPLAYER;F;`

 「指示した図形の画層」をすべてのビューポートでフリーズ

[コマンド] `VPLAYER;F;`

 全画層フリーズ解除

 現在層以外を非表示

[コマンド] `—LAYER OFF *;N;`

 全画層表示

 画層閲覧...

 画層状態管理

ADDLT_LAYERS ツールバー



このツールバーにはクリックするだけで現在層を切り替えられるようになっています。色ごとにグループ化してあります。お使いの環境に合わせて `add_lt.cui` ファイルを編集してください。

 現在画層を「SUNPO」に変更

[コマンド] `'-LAYER M SUNPO;`

 現在画層を「SUNPO_M」に変更

[コマンド] `'-LAYER M SUNPO_M;`

[解説]

「SUNPO_M」画層は、「モデル」タブ専用の画層です。

「SUNPO_M」画層で作図された図形は、「Adds.dwt」の「レイアウト 1」タブのビューポートには表示されません。

テンプレート

Adds.dwt の画層の設定

画層名	色	線種
0	7 (white)	CONTINUOUS
1C1	254	CONTINUOUS
1C2	254	CONTINUOUS
2C1	144	CONTINUOUS
2C2	144	CONTINUOUS
2H1	144	HIDDEN
2H2	144	HIDDEN2
2P1	144	PHANTOM
3C1	7 (white)	CONTINUOUS
3C2	7 (white)	CONTINUOUS
3C3	7 (white)	CONTINUOUS
4H1	6 (magenta)	HIDDEN
4H2	6 (magenta)	HIDDEN2
5C1	55	CONTINUOUS
5C2	55	CONTINUOUS
8C1	92	CONTINUOUS
DEFPOINTS	7 (white)	CONTINUOUS
HOJO	5 (blue)	CONTINUOUS
KIJUN	1 (red)	CENTER
MOJI	7 (white)	CONTINUOUS
SUNPO	144	CONTINUOUS
SUNPO_M	144	CONTINUOUS

キーボード割当て

アドメニューLT ではファンクションキーや一時上書きキーにオブジェクトスナップ等の機能を割り当てています。

アドメニューLT をインストールするとこれらのキーボードショートカットが使えるようになります。

ショートカットキー(ファンクションキーへの割り当て)

キー	コマンド	説明
CTRL+PAGEUP	'_zoom;2x	拡大ズーム
CTRL+PAGEDOWN	'_zoom;0.5x	縮小ズーム
CTRL+ ↑	\$M='_PAN;0,0,0,\$(/,\$(getvar,VIEWSIZE),-3);	上へ画面移動
CTRL+ ↓	\$M='_PAN;0,0,0,\$(/,\$(getvar,VIEWSIZE),3);	下へ画面移動
CTRL+ →	\$M='_PAN;0,0,\$(/,\$(getvar,VIEWSIZE),-2.2),0;	右へ画面移動
CTRL+ ←	\$M='_PAN;0,0,\$(/,\$(getvar,VIEWSIZE),2.2),0;	左へ画面移動
F1	---	ヘルプを表示
F2	---	テキストウィンドウを表示
F3	---	オブジェクト スナップ モードを切り替え
F4	_endp,int	オブジェクトの最も近い端点または交点 アップ: ENDP,INT
F5	_per	円弧,線分,または円と垂直な(直角をなす) アップ: PER
F6	---	座標モードを切り替え
F7	---	グリッド モードを切り替え

F8	---	直交モードを切り替え
F9	---	スナップ モードを切り替え
F10	---	極スナップ モードを切り替え
F11	---	オブジェクト スナップ トラッキング モード 替え
F12	---	ダイナミック入力を抑制
SHIFT+F1	_int	線分,円弧,または円の交点にスナップ:
SHIFT+F2	_mid	円弧,または線分の中点にスナップ: MID
SHIFT+F3	_qua	円弧,または円の四半円点にスナップ:
SHIFT+F4	_ins	文字,ブロック,シェイプ,または属性の挿入 スナップ: INS
SHIFT+F5	_tan	円弧,または円の接線を形成する点にス TAN
SHIFT+F6	_node	点オブジェクトにスナップ: NOD
SHIFT+F7	_cen	円弧,または円の中心にスナップ: CEN
SHIFT+F8	_appint	2 つのオブジェクトの仮想交点にスナップ:
SHIFT+F9	_m2p	2 点間の中点を指定: m2p
SHIFT+F10	_near	オブジェクトの近接点にスナップ: NEA
SHIFT+F11	'_layer;off;*;n;;	全画層(現在層をのぞく)を非表示
SHIFT+F12	'_layer;on;*;;	全画層を表示